

実績報告書

届出者	住所	大阪市城東区関目1丁目5番3号	氏名	相互タクシー株式会社 代表取締役 小野 幸親
特定事業者の主たる業種		43道路旅客運送業		
該当する特定事業者の要件			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		一般旅客運送事業		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1) 計画期間	
平成 26 年 4 月 1 日～	平成 29 年 3 月 31 日 (3年間)

(2) 前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度(25)年度	前年度(28)年度
温室効果ガス総排出量	6,342 t-CO ₂	5,660 t-CO ₂
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	6,393 t-CO ₂	5,694 t-CO ₂
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量	0 t-CO ₂	

(3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (28 年度)	第1年度 (26 年度)	第2年度 (27 年度)	第3年度 (28 年度)
選択	レ	削減率(排出量ベース)	3 %	-0.6 %	15.2 %
		削減率(原単位ベース)	0 %	0 %	0 %
削減率(平準化補正ベース)		— %	-0.5 %	15.3 %	11 %
吸収量による削減率		0 %	0 %	0 %	0 %

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値 ()	
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

(4) 温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理)

<p>主たる事業である旅客運送業務における車両利用について、稼働回数の増加により自動車エネルギー量が増加した。ただし、ハイブリットカーの導入を図り、日々の取り組みとしてエコドライブの実施を図り、省エネに対する意識向上に努めている。</p>	
---	--

◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策

(1) 推進体制

地球温暖化対策推進本部を設置し、対策の進捗状況を報告し、改善項目などを検討。
--

(2) 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策の実施状況

1. 産業・業務分野

No.	温室効果ガス (GHG) の排出 及び人工排熱 の区分		事業所名	対策項目	対策の内容	実施スケジュール (年度)
1	レ	GHG排出	全ての事業所	コード (1122) 空気調和設備 の運用改善	冷暖房の温度設定を最適に行う (冷房 25℃・暖房22℃)。	26 年度
	レ	人工排熱				28 年度
		平準化				
2	レ	GHG排出	全ての事業所	コード (1126) 不要時の事務機器の電源オフ	不要時の事務機器の電源オフや照明の消 灯を行う。	26 年度
	レ	人工排熱				28 年度
		平準化				

2. 自動車分野

No.	温室効果ガス (GHG) の排出 及び人工排熱 の区分		事業所名	対策項目	対策の内容	実施スケジュール (年度)
1	レ	GHG排出	全ての事業所	コード (2114) 自動車の適正 な維持管理	日常点検・3ヶ月点検等車両整備につい て定期的に実施し、適正な燃費を維持す る。	26 年度
	レ	人工排熱				28 年度
2	レ	GHG排出	全ての事業所	コード (2123) エコドライブ の推進	エコドライブを推進により、燃費効率を 向上させる。	26 年度
	レ	人工排熱				28 年度
3	レ	GHG排出	全ての事業所	コード (2121) 低燃費車両の 導入	ハイブリット車両の追加導入促進	26 年度
	レ	人工排熱				28 年度

(3) その他の抑制対策
